

日整連、第49回「整備需要等の動向調査」を発表

新型コロナウイルスの影響を受けて、整備事業者の景況感が大幅に悪化

日本自動車整備振興会連合会（日整連）は9月15日、第49回「整備需要等の動向調査」の集計結果を発表しました。調査は2020年7月時点のもので、全国の專業認証257、專業指定405、ディーラー指定319の計981工場から回答を得ています。

それによると、2020年1～6月の総売上高DI*は-59.0で、前期（2019年7～12月、-18.1）に比べて40.9ポイントと大幅に低下しています。業態別に見ると、專業認証は23.9ポイント低下し-58.0、專業指定は39.1ポイント低下し-54.6、ディーラーは57.7ポイント低下し-65.6となりました。

同期の総入庫台数DIは-59.5で、前期（-22.8）に比べて36.7ポイント低下しています。業態別では專業認証が23.4ポイント低下し-58.7、專業指定は37.7ポイント低下し-54.1、ディーラーは46.6ポイント低下し-67.0でした。

全業種で両DIが大幅に低下した結果を

受けて日整連は「整備業界は、緊急事態宣言下でも休業を要請されることなく、また、ほとんどのユーザーは予定通りに車検や定期点検を行うため、多くの事業者が前年並みの水準を確保、表向きは新型コロナウイルスによる影響は限定的と見ています。この調査は、「減った（減る）」と「やや減った（やや減る）」、「やや悪い」と「かなり悪い」を同じウェイトとして扱っているため、実態以上にマイナス側に振れていることも考えられます。一方、昨年10月の消費増税以降、新車販売台数の前年度割れが続いており、この影響は将来の入庫台数に影響するため、今後の動向に注視しています」との見解を示しました。

一方で、「事業場の営業時間短縮や修理部品の入荷遅延など、供給サイドとしての入庫制限、外出自粛で交通事故が減ったことによる事故整備入庫の減少、また、外出自粛や景気の先行き不安から、ユーザーが法定整備以外の一般整備、緊急性の低い整備

の入庫をやめたことなどがマイナス面で影響しているものと推測しています」と、新型コロナウイルスの感染拡大による整備事業への影響を検証しています。

2020年7～12月期の予想整備売上高DIは-59.1で、前回調査（-36.0）に比べて23.1ポイント低下、同期の予想総入庫台数DIは-58.9で、前期（-37.4）に比べて21.5ポイント低下、景況感DIは-77.2で、前回（-60.0）より17.2ポイント低下し、来期予測及び景況感も大幅に悪化していました。今後の動向について日整連は、「段階的に経済活動は再開しているが、来期の動向は新型コロナウイルスの感染状況次第」と、コメントしています。

景況感

	かなり良い (%)	やや良い (%)	やや悪い (%)	かなり悪い (%)	DI
專業認証	かなり良い (%)	0.4			
	やや良い (%)	3.5			
	やや悪い (%)		55.3		
	かなり悪い (%)			26.8	
	DI				
專業指定	かなり良い (%)	0.2			
	やや良い (%)	2.2			
	やや悪い (%)		55.3		
	かなり悪い (%)			22.2	
	DI				
ディーラー	かなり良い (%)	0.3			
	やや良い (%)	1.6			
	やや悪い (%)		54.5		
	かなり悪い (%)			26.3	
	DI				
合計	かなり良い (%)	0.3			
	やや良い (%)	2.3			
	やや悪い (%)		55.0		
	かなり悪い (%)			24.8	
	DI				

第49回「整備需要等の動向調査」集計結果

		直近半年間の実績		今後半年間の業績予想	
		総整備売上高	総入庫台数	総整備売上高	総入庫台数
專業認証	プラス成長 (%)	9.3	8.6	7.0	7.0
	マイナス成長 (%)	67.3	67.3	67.3	67.7
	DI	-58.0	-58.7	-60.3	-60.7
專業指定	プラス成長 (%)	11.1	10.1	6.4	6.7
	マイナス成長 (%)	65.7	64.2	67.4	65.2
	DI	-54.6	-54.1	-61.0	-58.5
ディーラー	プラス成長 (%)	10.3	8.2	11.9	11.0
	マイナス成長 (%)	75.9	75.2	67.7	69.0
	DI	-65.6	-67.0	-55.8	-58.0
合計	プラス成長 (%)	10.4	9.1	8.4	8.2
	マイナス成長 (%)	69.4	68.6	67.5	67.1
	DI	-59.0	-59.5	-59.1	-58.9

*DI = プラス成長（景況感DIでは「かなり良い」+「やや良い」）と回答した事業者の割合 - マイナス成長（景況感DIでは「かなり悪い」+「やや悪い」）と回答した事業者の割合

「自動車点検整備推進運動」強化月間スタート

オンラインで記者発表会を開催

国土交通省と自動車関係団体で構成される「自動車点検整備推進協議会」及び「大型車の車輪脱落事故防止対策に係る連絡会」は、9・10月（沖縄県では8・9月）を自動車点検整備推進運動の強化月間に設定し、「クルマと私の物語、ずっと続く未来の安心」をテーマとして、カーオーナーに適切な点検・整備の実施を呼びかけます。

同運動では重点項目として、①特に女性、若年層（10～30歳代）に対して点検・整備の必要性と重要性を啓発、②大型車の車輪脱落・火災事故防止に向けた点検・整備を啓発、③エコ整備（点検・整備によるCO₂削減効果）の啓発を設定しています。さらに、地域によっては独自の重点項目も設定されています。

カーオーナーへの認知度を高めるため、同運動に関する特設Webサイトを公開したほか、テレビCMや路線バスへの横断幕掲示、ポスター、チラシ、SNSなどを活用した啓発運動が展開されます。

同運動の実施に伴い、9月8日にはオンライン上で記者発表会が開催されました。ゲストにはYouTube上で配信されるPR動画を手がけたお笑い芸人の本多修氏とお笑いコンビ・ミルクボーイが登場し、点検整

備まつわるトークショーや、本多氏が描く「パラレル漫画」を使ったPR動画が公開されました。

その後、ミルクボーイと現役自動車整備士による日常点検のデモンストレーションが行われました。第22回全日本自動車技能競技大会優勝者である、池田誠司、渡辺優樹（神中興業、神奈川県藤沢市）の両氏とともにエンジンオイル、タイヤ空気圧、前後ランプの点灯などをチェックしています。ミルクボーイの2人はどちらもペーパードライバーだそうですが、バッテリー上

がりや火災事故は点検整備によって未然に防げることを知り、「点検整備の重要性を広めていきたい」と、コメントしました。

同イベントに出席した国交省自動車局整備課の佐橋真人課長は、「昨年9～11月に発生した自動車の路上故障は約7万件。中でもタイヤ、バッテリー、エンジンの故障が多く発生しているが、これらは日常点検・定期点検を確実に実施することにより、確実に防げるものです」との考えを示し、同運動が点検・整備の重要性への理解を促すのに有効であると述べました。



実車を用いて日常点検のデモンストレーションを披露

超小型モビリティに関する基準が整備される

国土交通省は1～2人乗り程度の超小型モビリティの普及促進を目的として、制度の改正を行いました。主な改正内容は次の通りです。

・超小型モビリティ（長さ2.5m、幅1.3m、高さ2mを超えない、最高時速60km以下の軽自動車のうち、高速自動車国道等を運行しないもの）であることを自動車検査証の記載事項とする

・当該記載事項に変更がある場合には、構造等変更検査を受けることを命じることとする

また、超小型モビリティの衝突基準などについても新たに設定されており、これら基準が適用される車両には、最高時速が60km以下であることを示す標識の掲示が義務づけられています。



超小型モビリティであることを示す標識

OBD検査、来年10月からプレテストを開始

国土交通省は、2021年10月以降の新型車を対象として、2024年10月から開始することとされているOBD検査制度について、2021年10月から検査のプレテストを開始しました。

OBD検査制度は、「運転支援装置」、「自動運行装置」、「排ガス関係装置」の不具合（保安基準不適合）を示す故障コード（特定DTC）について、車検時に法定スキャンツールを用いて検査する制度です。

また、今回プレテストを開始するとともに、必要な情報管理に関する実費として、1台当たり400円を自動車技術総合機構が徴収することとされています。

NGP リサイクルパーツ ができるまで

第4回 灯火装置

本コーナーはNGPリサイクル部品ができるまでの過程を解説し、リサイクル部品の品質・安全性確保や地球環境負荷低減に向けて、NGPがどのように取り組んでい

るかを紹介して参ります。

第4回目は、ヘッドライトやテールランプなどの「灯火装置」をリサイクルパーツとして商品化するまでの工程を紹介します。

STEP. 1 車両確認

ライト類の確認では目視確認の他、点灯確認、光束のチェックなどを実施します。



NGPの商品化基準マニュアルでは、メーカー純正品以外の販売を禁止しています。そのため、もしも社外品の光源などが使用されていた場合には、取り外してから商品化します。

STEP. 2 部品取り外し



パーツをていねいに取り外します。

STEP. 3 リサイクル部品の美化



ライトの裏側のホコリや汚れはブラシとウエスで取り除き、レンズはコンパウンドで磨きます。

LEDの登場による光源の変化や、AFS (Adaptive Front-Lighting System: 配光可変型前照灯システム) 及びADB (Adaptive Driving Beam: 配光可変ヘッドランプ) の採用による高機能化などにより、近年ヘッドライトの部品価格は上昇傾向にあります。NGPではヘッドランプ補修技術研修会を開催しており、ステーの破損などを修復しリサイクル部品として商品化することで、修理工場の顧客満足度向上への貢献を目指しています (※写真は前年以前に開催された講習会の様子)。



STEP. 4 品質チェック



ツメやステーの割れ、欠けがないか、裏側までしっかりと確認します。

STEP. 7 保管

NGPの在庫保管基準を遵守することで、保管中の汚れや劣化・形状変化を防止します。



STEP. 6 NGPシステムへの登録



商品の詳細な情報を、システムに登録します。

STEP. 5 商品写真撮影



レンズやステーの状態が分かるように、複数の写真を撮影します。

STEP. 8 梱包・発送



運送中に傷などが付かないようにしっかりと梱包し、NGPの商品基準をクリアした証である「ベルマーク付きギャランティシール」を貼付し、発送します。

取材協力: (有)ベストパーツ (千葉県市原市)

NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

令和2年8月: **2,250t**



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

令和2年8月: **0.8t**

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目(左右ある部品を含む115品目)を対象に算出した数値です。

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP組合員 かわら版

NGPグループISO合同審査会を開催 多くの会場で webシステムを活用



北海道支部合同審査会の様子



webシステムを活用した、東北支部合同審査会の様子

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合はISO9001（品質マネジメントシステム）、ISO14001（環境マネジメントシステム）、ISO45001（労働安全衛生マネジメントシステム）、ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）の一括認証の更新を目的とした合同審査会を開催しました。

今年度の合同審査会は、北海道支部が参加者のマスク着用などの感染症対策を

徹底した上で、9月12日に北海道立道民活動センターで開催し、そのほか東北、北関東、南関東、北陸、東海、関西、中四国、九州の各支部は、webシステムを活用したリモート形式で開催します。

合同審査会によって、組合員各社が個々に認証取得、更新するよりも費用が大幅に低減できるほか、マネジメントシステムの導入を通じて、商品の品質管理はもちろん、労働環境改善、情報セキュ

リティの強化を継続的に行い経営基盤の強化を図ることが可能になります。

NGPは、ISOマネジメントシステムの有効性を通して業務の継続的改善を推進することにより、自動車リサイクル事業を通して地域社会とお客様のご期待にお応えする活動を推進してまいります。

NGPニュース

アンケート ご協力をお願い

今後もより良い情報をお届けするために、皆さまのご意見をお聞かせください。

① NGPニュースは読んでいますか？

・毎月読んでいる ・時々読んでいる ・あまり読まない ・読んだことがない

② ①で「毎月読んでいる」「時々読んでいる」と答えた方にお聞きします。NGPニュースの満足度をお聞かせください。

・大変満足 ・満足 ・不満 ・大変不満

③ ①で「あまり読まない」「読んだことがない」と答えた方は、その理由をお聞かせください。

・読む時間がない ・必要な情報がない ・内容がつまらない ・他からの情報で十分 ・情報が多すぎる
・その他（)

④ ②で「大変満足」「満足」と回答された方は、どんなところに満足されていますか？

()

⑤ ②で「不満」「大変不満」と回答された方はどんなところに不満を感じていますか？

()

⑥ NGPニュースの改善点や要望があればお聞かせください。

()

⑦ お客様の性別をお教えてください。

・男性 ・女性

⑧ お客様の年代をお教えてください

・20代以下 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代 ・70代以上

ご回答方法

本紙にご回答を記入しFAXにてお送りいただくか、QRコードからアンケート用特設サイトにアクセスし、ご回答ください。

FAX番号：03-5475-1209



訃報

令和2年9月4日、太田部品株式会社（静岡県御殿場市）代表取締役 太田 勲様の御令室様・太田 光子（おおた みつこ）様のご逝去されました（享年71歳）。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

令和2年9月17日、有限会社佐藤商事（新潟県村上市）専務取締役 佐藤 潤（さとう じゅん）様のご逝去されました（享年49歳）。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<https://www.ngp.gr.jp/>

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
<https://www.ngp.co.jp/>



FSC® 森林認証紙、ノンVOC インキ（石油系溶剤 0%）など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて、印刷事業において発生するCO₂ 全てをカーボンオフセット（相殺）した「ゼロカーボンプリント」で印刷しています。